

附屬書類添附

大正五年八月十七日接受

警務局 第二課

1 此の書類は...

第8930號

高田 敬收 第三〇三五號

大正五年八月十二日

朝鮮總督府警務總長 古海 巖



### 外務次官殿



新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
起メ發賣額布ヲ禁止シ押收處令致候  
条款又添付此段及通報候也

一新韓民報

第三九四号

大正五年五月十八日東京港ニ於テ發行

報告通報先

朝鮮總督

政務總監

總務局長

內務次官

外務次官

警視總監

警保局長

内閣書記官長

憲兵司令官

関東都督府

新韓民報

第三九四号

廣告

哈爾濱駅前朔風凜烈タルノ時一聲  
 霹靂世界ノ耳目ヲ震動セシメタル  
 ノ俠士ヤ果シテ何人ソ順テ旅口頭残月  
 蒼茫ノ夜一片ノ孤魂袒胸ノ江山ヲ守  
 護セル義士ヤ果シテ何人ソ之レ満天  
 下ノ士ヲ率テ崇拜且敬慕スル安重根  
 公其人ナキスヤ今幸ニ我カ太白程奴

ノ健筆ニヨリ安公ノ慷慨ナル生涯ヲ  
 描ケル安重根傳ナル忠烈ヲ慕フノ同  
 胞ハ速ニ購讀セラレシコトヲ望ム

韓國痛史ヲモ發賣ス

ローサンセルス

庚子一月

附  
高

大正五年九月一日 接獲

警務局長

第9468號

高田敬度第二八五號

大正五年八月廿六日

朝鮮總督府警務總長 古海嚴



### 外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

尤記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認ノ發賣頒布ヲ禁止シ押收處分致候  
条款文添付此段及通報候也



一國民報

第二二九号 七月十五日

一全

第二三〇号 七月十九日

一全

第二三一号 七月廿二日

一全

第二三二号 七月廿六日

一全

第二三三号 七月廿九日

一全

第二三四号 八月二日

以上布陸ホノルニ於テ發行

(譯文)

報告通報先

朝鮮総督

政務総監

総務局長

内務次官

外務次官

警視総監

警保局長

内閣書記官長

憲兵司令官

関東都督府

國民報 第二九号  
論說

日露同盟對スル本港英文報言論

這回締結セラレタル日露同盟ハ三個  
ノ伏線ヲ以テ日本ノ憑徳ニヨリ成立  
セルモノナリ一ハ露國ト握手ニテ支  
那ニ對スル利權ヲ獨占セントスルニ  
アリ二ハ歐洲戰亂終結ノ後獨逸ト  
同盟セントノ下心ナリ三ハ如上ニヨ

リ英國ヲ懐外ニ以テ東洋ノ盟主タル  
ノ光榮ヲ日本ノ掌中ニ收メントスル  
ニアリ英國ヲ懐外スルノ傾嚮ハ頃者  
漸ク日本有識階級ニヨリ喧傳ミラル  
ニヨリ親取セラル、屢ニシテ米國  
モ亦大ニ戒心ヲ要スルノ秋ナリ云々

國民報 第三三〇號

報

日露同盟、内容

日露同盟、内容ハ頃者周國ノ壓迫ニ堪ヘスシテ日本政府ハ遂ニ之ヲ發表スルニ至レリ此レヨリ之ヲ觀レハ日露同盟ハ正ニ支那ノ開放ヲ妨害レ極東ノ舞台ヨリ英米兩國ノ利權ヲ奪還セントスルニ外ナラス從テ是ヨリシ

極東ノ風雲ハ歐洲ノ比ニアラスト謂フヘキナリ云々

國民報 第二三二号

朝鮮人の自治ヲ強ユ

頃者日本ノ識者ハ獨言スラク曰ク日本カ  
朝鮮ヲ併合シタルハ寧ロ朝鮮ヲ救ハ  
ン為ニシテ將來時機到ラハ米國ノ政  
地及比律賓ニ對シ自治ヲ與ヘタルカ  
如クセントスルニアリト嗚呼此レ何  
等ノ僞言ソヤ吾人ヲ目スルニ政地及

比律賓人種ト同視スルカ吾人ハ彼全  
祖國ノ山川ハ焦土ト化スルニ與ヘラ  
レタル自治ヲ受クルヲ德セズ朝鮮ノ  
統治ハ當ニ畢竟鉄ト血トヲ以テ購  
フノ外ナキナリ



論說

直接準備と間接準備

國家の回復ハ歎ニ非ラサレハ能ハク  
 ルハ古今歴史ヲ證スル處ナリ而モ戰  
 ヤ先ツ準備ナカルヘカラス準備ニ直  
 接ト間接トノ二様アリ或者ハ四ク直  
 接準備可ナリ或者ハ四ク間接準備ヲ  
 採ルト吾人ノ按ツル處ハ兩者相比例

ニテ進歩シ以テ完全ナル準備ト謂フ  
 ハキナリ我同胞ヨ八月二十九日ヲ銘  
 記セヨ而シテ其日ニ於テ必ス相當ノ  
 財ヲ國民會ニ獻出セヨ此レ當ニ國家  
 回復ニ資スル一種子タルヲ忘ルヘカ  
 ラズ若シ此ヲシテ忘却セシカ其ハ直  
 チニ父母ノ國家ニ對シテ不孝不忠ノ  
 子孫ト謂フヘキナリ

國民報 第二三三號

安南人、歐洲出征

曩ニ印度人ハ英國ノ為ニ歐洲戰場ニ血ヲ流シ今又安南人ハ佛國ノ海ニ血ヲ流シ做ヘリト吾人ハ是ニ對シ風馬牛タル能ハサルナリ印度人ト云ヒ安南人ト云フ是レ等シク自己ノ國家ヲ奮發セラレタル警敵ノ為ニ其ノ國

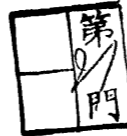
家ヲ守ルヘク貴キ血ヲ流スヲ餘儀ナクモラレタルモノ真ニ悲慘ノ極ニ非ラズヤハレシニ彼等父兄ノ子孫ノ教養ヲ志シタルノ結果タラスシハアラズ吾人ハ此ノ目前ノ慘状ヲ鑑ミトシ頻ラク祖國ノ回復ニ對シテ準備ヲ怠ルナク然ラハ復令一回ノ失敗ニ終ルモ吾人ノ子孫ニ對シテ大ナル遺訓タルヲ得ヘキナリ

國政報 第三四号  
論說

男子部寄宿舎問題

屢次切言スルカ如ク事業ハ断行ニアリ  
遠回ノ問題タル男子部寄宿舎設立ニ  
対シ可否ヲ議スルノ時機ハ既ニ去レ  
リ要ハ反対ヲ打破シテ断行トシテ実  
行ニ着手スルニアリ經營其ノ他ノ問  
題ハ多ク杞憂スルノ要ナキナリ吾同

胞ハ須ラク現下ノ境過シ願ミサル可  
ラス吾人ハ實ニ國家ヲ失ヘルノ民族  
ニ非ラスヤ此レカ回復ノ偉業ハ單ニ  
現在ノ吾人ニ於テノニ完成スルヘ  
クモイラス將ニ教育アリ熱血アルノ  
未來ニ學業ニ俟ツ多キヲ知ルヘク最  
果ニ然ラハ教育ノ開スルノ事業ハ  
美事ヲ措テ断行スヘキハ當然ナルナ  
リ云々



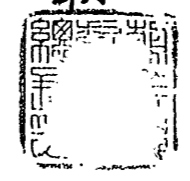
秘受9546號

大正五年九月四日接受  
警務局長  
第一課

高國秘發第二八六號

大正五年八月二十九日

朝鮮總督府警務局長 古海嚴朝

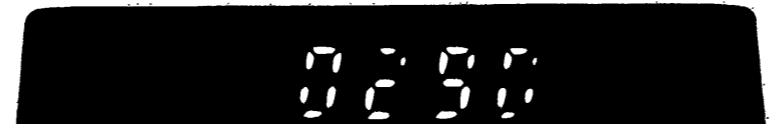


### 外務次官殿

出版物押收ノ件通報

左記出版物ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ押收處分致候  
条訊文添付此段及通報候也

一大平洋雜誌  
第二卷第十号 (千九百十六年七月号) 誘文  
布哇示ル、發行



太平洋雜誌 訳文

寺内總督教會ヲ壓迫ス

凡ソ宗教ハ人類ノ道德ヲ培養シ社會ノ風氣ヲ教  
定シ未開者ヨ文明ニ道ヲ壓制ヨリ脱シテ自由ヲ得セ  
シムヘキ神聖ナル機關ナルコトハ吾人ノ言ヲ俟タスニテ  
明ナル処ナリ然ルニ何事ゾ彼ノ惡魔寺内總督ハ奸  
惡ニシテ亦カモヲ脅迫的ノ政策ヲ以テ我祖國ニ臨ミ吾  
人ノ團體教會ヲ壓迫シ京師各地ノ教會ヲ撲滅セシ

トシツキリ吾人ノ數年前我教會ニ社會ニ有力ナル  
先輩タル尹致昊事件ニ於テ彼レカ我教會團體ヲ害  
セントシタル事實ハ今尚ホ吾人ノ記憶ニ新ナル処ニシテ  
彼レヤ現在ニ於テモ益々惡辣ノ手段、毒惡ノ政策ヲ以テ  
吾人教會團體ニ臨ミ以テ之レカ撲滅ヲ期セントシツキリ  
噫我韓國民族ニ千萬同胞、今ヤ我カ錦繡江山ハ  
光ヲ失ヒ南山、草木ハ淚ニ咽ヒツキリ諸君、同心協力シテ  
奮起セヨ即チ我カ江山ヲ我カ手ニ收メ自由ノ恢復ヲ期  
セヨ

被受9884號

大正五年九月十四日據

警務 第二課

高國政發第三〇〇號

大正五年九月九日

朝鮮總督府警務總長 古海 嚴 湖



### 外務次官殿

出版物差押ノ件通報

左記出版物ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ差押處分致候  
条款文相添此段及通報候也



一醒心指迷之実花 警夢鐸 (内容支那文)

發行者及行年月日等不明

Handwritten signature or note in the right margin.

報告通報先  
朝鮮総督 政務総監  
内務次官 外務次官  
警保局長 内閣書記官長  
関東都督府  
総務局長  
警視総監  
憲兵司令官

警夢 鐸

(譯文)

發行年日不詳 (但支那文)

叙

滿州ハ白露ノ間ニ介在シ最近二十年未三度兵  
乱ノ卷トナリシヲ以テ人民ノ困苦殆ント名状スヘカ  
ラサルモノアリ而シテ何日シカ白露ノ兩國ハ此地ニ  
増兵シ勢力ノ均衡ヲ保テツアリ日韓係合ニ成  
ルヤ日本ハ橋ヲ鴨綠江ニ架シ都ヲ義州ニ遷シ  
五、陪都ニ遷ラントス於茲乎余ハ痛心悲憤ニ

堪ヘス滿州ニ亦彼ノ安南、臺灣ト同一運命  
ニ淪ルナカラシラ悞ル似テ此一編ヲ草シ以テ我同  
胞諸君ニ贈呈スル所以ニシテ断シテ徒ニ筆華ヲ  
銜ヒ文墨ヲ弄セントスルニ非ラサルナリ竹節相韻調  
等雅チハ慷慨ノ餘憤愈弁、間ニ感リシヲ以テ或ハ  
世ノ雅客ノ笑ヲ貽ス有ランモ希クハ識者之ヲ諒セヨ



此は雑誌の部 凡冊一

大正五年九月廿五日接受

警政務署

第一課

高岡稅收第三五二號

大正五年九月廿一日

朝鮮總督府警務總長 古海嚴

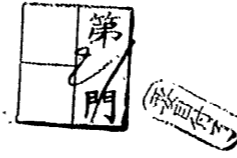


第10276號

### 外務次官殿

出版物押收ノ件 遺報

左記出版物ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認ノ後賣頒布ヲ禁止シ押收處分致候  
奈此段及遺報候也



### 一開城家稿

全一冊 題名

花開金沢榮選

發行年月日未詳

著作發行著記載ハ王粹煥ノ一族タル王錫輔、王師亮  
王師天、王師環等之ヲ合著シ在上海金沢榮ノ發行シタル  
丁未六月開京城大守「及」吳梅泉著 (活版摺)  
本題「詩」ヲ掲載ス

第10238號

大正五年九月廿五日接受

駐日公署

第...

高岡秋俊 第三〇五號

大正五年九月二十日

朝鮮總督府警務總長 古海辰



### 外務次官殿

新聞紙押收、件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ押收處令致候  
条此段及通報候也

#### 一 國民報

大正五年八月五日 第二三五號

#### 一 全

(軍費對峙) 對各地方個人言論ト題スル記事ヲ掲ク

#### 一 全

(軍費對峙) 軍務部ハ勸誘文ト題スル記事ヲ掲ク

#### 一 全

(我カ韓未亡ト題スル記事ヲ掲ク)

#### 一 全

(韓人ノ中國入籍ト日本政府ノ抗議ト題スル記事ヲ掲ク)

#### 一 全

(米墨ニ於ケル韓人ト日人ト題スル記事ヲ掲ク)

#### 一 全

(振作森ノ人物ト題スル記事ヲ掲ク)

#### 一 全

(韓人中誰カ飛行ヲ始メラントスルモノト題スル記事ヲ掲ク)

以上布哇ホルハニ於テ發行 (譯文)

第10277号

大正五年九月廿五日接受

駐政務局 第一課

高國秘發第三〇七号

大正五年九月二十一日

朝鮮總督府警務總長 古海嚴



### 外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止ニ押收處分致候  
条此段及通報候也

一 太平洋雜誌  
二 朝鮮時報

第二卷第十一號(八月) 布達ホルハ發行

雜誌ニ勝テト題スル不穩記事ヲ掲載ス

第11076號

高田

大正五年十月廿日 接獲

警務

第一課

高田發第三五四號

大正五年十月十四日

朝鮮總督府警務總長 古海殿



### 外務次官殿

#### 新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ後賣頒布ヲ禁止シ押收處分致候  
系此段及通報候也

#### 一 國民報

八月三十日發行 第二四二号

(「末年ニ亦本日ヲ迎フヤ」ト題スル不穩記事ヲ掲載ス)

#### 一 全

九月三日發行 第二四三号

(「日獨同盟ニ対シト」ト不穩記事ヲ掲載ス)

#### 一 全

九月六日發行 第二四四号

(「布哇博覽會ノ機會ヲ捕ヘヨ」ト不穩記事ヲ掲載ス)

#### 一 全

九月九日發行 第二四五号

(「軍費時高」ト布哇韓人ノ義務「リ」ト不穩記事ヲ掲載ス)

#### 一 全

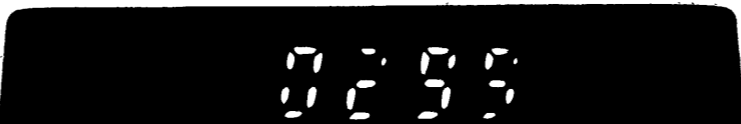
九月十三日發行 第二四六号

(「余ノ本國巡遊」ト不穩記事ヲ掲載セリ)

以上何レモ「布哇」ニ於テ發行

(謄文)

報告通報先  
朝鮮總督 政務總監  
内務次官 外務次官  
警保局長 内閣書記官長  
関東都督府  
總務局長  
警視總監  
憲兵司令官



11147

大正五年十月廿三日接受

警政署 第二号

高圖秘發第三六〇號

大正五年十月廿八日

朝鮮總督府警務總長 古海殿



### 外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ押收廢合致候  
条此段及通報候也

一太平洋雜誌

第二卷第十二号 九月号  
布哇ホノルニ於テ發行(譯文)

(「愛國紀念節」ト題スル不穩記事ヲ掲載ス)

報告通報先

朝鮮總督

政務總監

總務局長

內務次官

外務次官

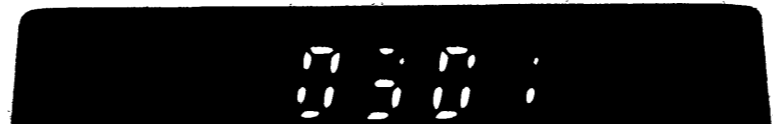
警視總監

警保局長

内閣書記官長

憲兵司令官

関東都督府



第1175號

大正五年十月廿四日接獲

駐日公署

第一課

高麗稅發第 三六四 號

大正五年十月二十日

朝鮮總督府警務總長

古海嚴刺

### 外務次官殿

出版物差押ノ件通報  
左記出版物ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ差押處分致候  
条此致及通報候也

一 韓國歷代小史

春夏秋冬全四冊

花開 金澤榮 著

支那上海發行 漢文

(朴提上ニ因テ不穩記事ヲ掲載ス)



手付郵便紙

大正五年七月四日 接受 駐露 第一課

高田 秋後 第三七十一號

大正五年十月二十八日

朝鮮總督府 警務總長 古海 嚴 潮



### 外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認ノ後賣頒布ヲ禁止シ押收處分致候  
糸此段及通報候也



一 國民報 第二四七号 九月十六日

一 (布哇學校計畫ニ關スル記事ヲ掲載ス)

一 合 第二四八号 九月二十日

(軍備貯蓄ニ關スル記事ヲ掲載ス)

布哇ホルニ於テ發行(譯文)

大正五年七月十三日接受

對正務

高國秘收第百四十四号ノ二

大正五年十一月七日

朝鮮總督府警務總長古海



### 外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣額布ヲ禁止シ押收處分致候  
條込段及通報候也

### 左記

- 一 新韓民報 第四五号 八月十日發行  
カスマン處判ト題シ愛蘭ノ志士カスマンハ  
反英事業成ラズシテ處刑セリト報シ安重報  
祖國ノ名ニ旅傾口外ニ眠ル者カスマンハ兩者  
ノ忠血ヲ粘シカニ精印ハセヨグシテ長ハナリ  
ト報シテ掲ケ
- 二 全 第四〇六号 八月十日發行  
國民ノ義務ハ家族義務ノ如クト題シ

家人が自家ノ覆滅ニ際シテハ之レが振  
興ヲ計ルガ如ク國民タシモ之レを國家  
ヲ復興セザルベカラズトノ起リヲ揚ゲ

一全 第四〇七号 八月二十九日發行  
國恥記念ト題シ一般同胞ニシテ八月二  
十九日ノ亡國記念日ヲ忘却ノ憾慨悲  
憤タシモナク敢テ誓ヒ奮スルモノナクシバ吾人  
蓋シ地獄ノ窟ニ墮ルベキナリトノ起リヲ揚ゲ  
一全 第四〇八号 八月三十日發行

第六回ノ國恥記念日ニ痛哭スルト題シ  
吾人ノ復タ茲ニ八月二十九日ノ第六  
回ニ國恥記念日ヲ迎ヘ塗炭ニ墮ル全  
同胞ノ現状ヲ見テ痛嘆ニ堪ヘザルモノナリ  
吾人同胞ノ宜シク一齊ニ吾人國權ノ恢  
復ヲ計ルザルベカラズトノ起リヲ揚ゲ  
以上 (右條ノ北米東洋駐留新聞  
社發行ノ人ニ對シテ)

報 告 通 報 先  
朝鮮總督 政務總監  
内務次官 外務次官  
警保局長 内閣書記官長  
關東都督府 總務局長  
警視總監  
憲兵司令官

附屬書類添附

大正五年十一月廿四日接獲 駐露公使館 第一課

高岡

秋發第四〇〇番

第一課

附12043

大正五年十一月十八日

朝鮮總督府警務總長 古海 嚴



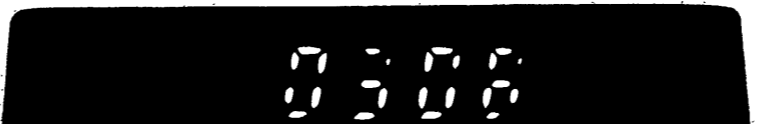
外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ差押處分致候  
条款文相添此段及通新候也

報 告 通 報 先  
 朝鮮總督 政務總長  
 内務次官 外務次官  
 警保局長 内閣書記長  
 關東都督府  
 總務局長  
 警視總監  
 宮兵司倉官

REEL No. 1-0158



記

第四〇九號

「小松翰長ノ不合理ナル併合紀念論」ト題シ小松中松院書記官長ハ曰韓併合ハ韓人ノ幸福トリトノ詭辭ヲ弄スレトモ吾人ニ千万同胞ハ自由ヲ失ヒテ塗炭ニ苦ミ三千里ノ江山ハ吾人ノ歴史ヲ滅ホシテ尚且ツ兵レヲシテ幸福ト謂フニキヤト記事ヲ掲ク

第四一〇號

「前号ノ續止ト題シ翰長ハ韓人ハ併合ニ依リ内地人ト合等ノ權利及待遇ヲ受ケ其ノ面目ヲ一新セリト稱スレトモ而カモ禽獸ノ如キ虐待ト無限ノ壓迫トヲ受ケ」ト呼ビレテ以テ

尚合等ノ待遇權利ヲ言テ受スルモノト謂フヘシヤ要スルニ吾人ノ抹ルヘキモノハ只一二最後ノ手段アルノミナリト記事ヲ掲ク

第四一二號

「見ヨ我カ青年團ヲ我カ青年ト題シ歐洲ハ戦乱ノ巻ト化シ支那ハ絶ヘス革命ニ動搖ス然レトモ六等ノ起ルヤ救ヲ偶然突發的ノモノニ非ラズニテ必ク長日ノ準備ト用意トノ結果タルトリ忘ルヘカラズ吾人カ我カ大韓ノ獨立ノ恢復スルニ先ツ其ノ地勢カノ集中ト軍備ト充實トヲ計ラサルベカラサルナリトノ記事ヲ掲ク」

大正五年七月廿五日發  
高圓秘號第四〇號  
警務署  
押  
築  
譯

大正五年十一月十八日

朝鮮總督府警務總長古海嚴



外務次官殿

新聞紙押收、件遺報

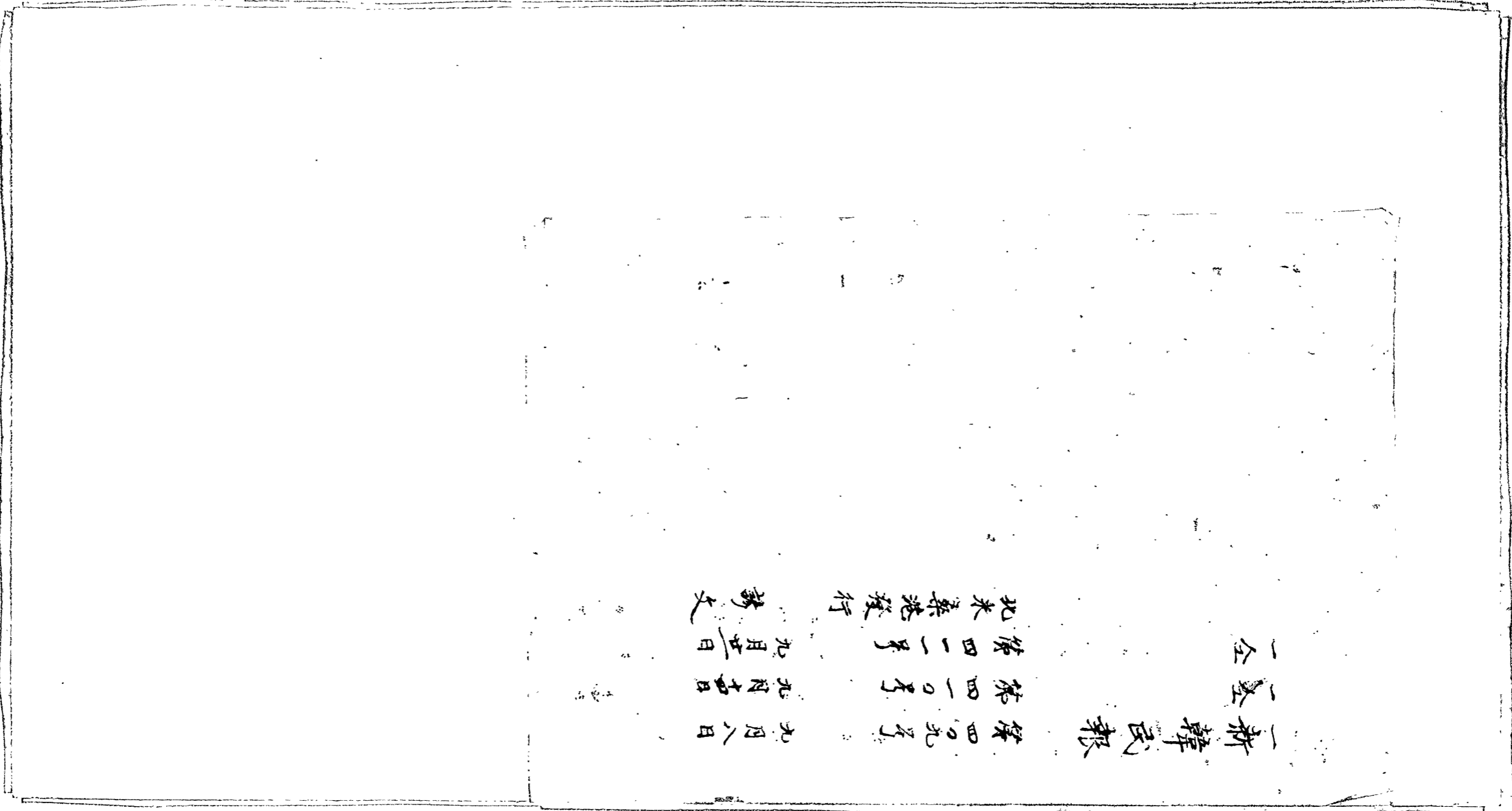
左記新聞紙六紙、於寄付に  
認め、發賣頒布を禁止し、差押處分致  
糸別紙款文相添此段及遺報候也

十一月六日附本号より及過期未第ニ奉  
記入済、箇所有之表、本紙、中、引、替、  
相減度、高、記、之、漢、之、書、類、便、宜、破、棄、  
相減度候也

大正五年十月十八日

警務總監都高等警監標





新韓民報  
 第四〇九号  
 第四一〇号  
 第四一一号  
 九月八日  
 九月廿日  
 九月廿日  
 北米泰港發行  
 勢文

REEL No. 1-0158



第12154號

大正五年七月廿七日

警務部

第一課

高田 秘收第四二七八號

大正五年十一月二十日

朝鮮總督府警務總長 古海 嚴 刺



### 外務次官殿

出版物差押ノ件通報

左記出版物ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ差押履否致候  
条此段及通報候也

ニッ折表紙ニ因志正公血竹圖下題シ普通大朝鮮紙ニ青色ノ  
竹ヲ画キ其右方上部ニ尤難ハ如キ詩ヲ記載シタル

大韓光武九年十月三十日

不泯者忠 磅礴鬱鬱結  
不敷者精 竹乃自生 贊

忠正國公咏煥殉于國其血

勁幹直節 如復見公

衣及刀藏之夾室至明年

綠葉疎莖 氣槩凜凜

七月四日閉戶視之有竹四幹

風義所感 度藉英烈

自生於紙據板縫之際長屋

宸守同情 救危文傾

三五尺異身而有千尋之勢異

圖以傳之 萬古芳名

其狀謂非精忠所感乎諸  
紳士咸皆嗟慕高入梓繼以  
作贊曰

報告通報先  
朝鮮總督 政務總監  
内務次官 外務次官  
警保局長 内閣書記官長  
關東都督府 總務局長  
警視總監  
憲兵司令官

12210

大正五年十二月廿八日

警務局

第一課

高田秋發第四五編

大正五年十一月廿五日



### 外務次官殿

雜誌押收ノ件通報

左記雜誌ハ治安ヲ妨害スルモノト認  
ノ發賣頒布ヲ禁止シ押收處令致候条  
此段及通報候也

新興學友報 第二卷第一号

發行所支那奉天省柳河縣三流浦新興學友團

十月廿五日發行

編輯人 姜一秀 (諺漢文)  
發行人 桂龍實

合カセヨ新大韓青年ト題シ大韓青年タルモリハ  
宜シク合カ一致奮起シテ冤讐ヲ討滅シ祖國ノ江  
山ヲ光復セテ以テ可憐ナル蒼生ヲ拯ヘトノ不  
穩記事ヲ掲載カリ

報告通報先

朝鮮總督

政務總監

總務局長

内務次官

外務次官

警視總監

警保局長

内閣書記官長

宮兵司令官

関東都督府

附屬書類添附

大正五年三月四日 接獲

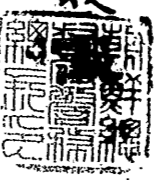
駐露

第一課

高田 稅收第四一〇 號

大正五年十一月十九日

朝鮮總督府警務總長 古海 呈



128609

### 外務次官殿

新聞紙相收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ相收處有致候  
条此段及通報候也

### 一 國民報

第二四九号

九月廿三日

日米衝突ノ時期ヲ促スト致シ日本ハ米國ノ支那ニ對スル  
妨害ニ對シ米國ハソキシロ問題ニ對シテ相互ニ恣意ヲ抱キ  
居ルハ早晚其ノ衝突ヲ免レサルハ吾人ハ此ノ機ニ於テ大覺  
悟セラルベカラスト致ス

第二五〇号

九月廿七日

軍備貯蓄金ト致シ 願金者ノ氏名ヲ掲ケ以テ民心ヲ  
煽動スル處アリ

第二五一号

九月三十日

安元奎、本國旅行ト軍備貯蓄集トノ風説ト題シ  
日人ハ安ガ帰國セルハ軍費募集ノ者ナリトノ風説ヲ塵  
播シ以テ韓人等ヲ以テ本國ニ未往セシメラントシテ、アリ  
トノ記事ヲ掲ク

一 國政報

第二五二號

十月四日

在布哇韓人、軍費貯蓄ニ對シテト題シ布哇日本新聞  
ハ韓人ニ獨立思想ナシトテ笑罵シツ、アルモ吾人ハ而モ  
國權恢復主義ト共ニ生カヘキナリト説ケリ

一 全

第二五三號

十月七日

青肉正毅、内閣組織ト日本、外交方針、變動ト題シ日本ハ  
日英同盟ヲ排シテ日獨同盟ヲ結フニ至ルニ然レドモ之レ不可  
能事ニシテ、時ニ當リ必スヤ日本、外交ニ大變調ヲ弄ス  
其、機ヲ逸セス吾人ハ、發起シテ目的ヲ達セサルハカラスト  
説ケリ

一 全

第二五四號

十月十一日

日布時事論説ニ對シテト題シ全紙ハ日韓兩國室ノ  
婚姻、依テ兩國民ハ親睦ヲ加フヘシト説ケルモ而カモ吾人

一 全

第二五五號

十月十四日

朝鮮ノ關係ヲ有セザル李朝ト婚姻ノ事アルモ吾人ニ何等  
ノ影響カ在ラン吾人ハ、高麗ニ主義目的ヲ達スルモノ  
ナラズナルナリトテ、記事ヲ掲ク

一 全

第二五六號

十月十八日

軍費貯蓄金ト題シ、融金者ノ姓名ヲ掲載シ以テ民  
心ヲ煽動スル處アリ

太平洋雜誌

第三卷第一號 十月号

本誌之カラサレ権利ト題シ英米ニ全權族トシ不拘  
奪之カラサレ慶ノ権利即チ天賦ノ自由ノ為メニ獨立戰  
争ヲ敢テヤリ然ルニ日本ト韓國トハ種族ニ於テ何等  
關係ツ有スルモニ非ラズ故ニ以テ權利ノ為メニ當然ニ立チ入  
カラサレナリト認ケリ

以上有哇ホル、ニ於テ發行（藝文）



報告通報先

朝鮮總督

政務總長

總務局長

内務次官

外務次官

警視總監

警保局長

内閣書記官長

宮兵司令官

関東都督府

第12423号

大正五年十月五日

警務部 第三課

高田秋發第五一五號

大正五年十二月一日

朝鮮總督府警務總長 古海 嚴



### 外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ押收處令致候  
条此段及通報候也

一 國民報 第二五七號

十月二十五日

日人、凌辱ト各地同胞ノ憤慨ト題シ日人等ハ日人、  
軍務局對面同義ト題シ凌辱攻撃ヲ加ヘツルモノ  
在布哇各地同胞ハ鉅額之ニ對抗スヘク決議セル者  
然ル事ナリトノ記事ヲ掲ク

一 全

第二五八號

十月二十五日

和洋邦人ノ發展ハ國民報ノ擴張ヲ要求スルト題シ  
今ヤ在留同胞ハ祖国精神ノ鼓吹ヲ生命トスル本紙  
ノ發展ヲ要求シツアリ希ク同胞諸君協力一致援  
助セラルレトナリトノ記事ヲ掲ク

一 全

第二六〇號

十一月一日

大長官郎ハ五人ノ何ノ干係カア止ト題シ在布哇日本

総領事ハ天長分郎ニ降シ病院及監獄ニ呻吟セル  
時日兩國人ニ瀕者ヲ贈リシ處邦人ハ一齊ニ天長分郎吾人ニ  
何ノ干係カアルト稱シ之ヲ拒絶サリト云フ誠ニ快心事ト云フヘシ  
トノ記事ヲ掲グ

一全

第二六一條

十月四日

嗚呼昔興下懸シ文那滿州朝廷ヲ顛覆シテ共和國ヲ建  
設シタル大革命家黃興ハ斯キ又呼吾人自的トスル前途  
也事業ニ対シ誠ニ痛嘆ニ稱堪ヘサルナリト掲グ

一全

第二六二條

十一月八日

軍費貯蓄金ト云シ驟去者ノ姓名ヲ掲ガシテ民心ヲ  
刺戟スル處アリ

以上布哇ホム、ニ於テ發行

(譯文)

報告通報先

朝鮮總督

政務總監

總務局長

內務次官

外務次官

警視總監

警保局長

内閣書記官長

憲兵司令官

關東都督府

第12548號

大正五年三月 八日 接受

駐日務局

第一課

新聞紙押收ノ件通報

大正五年三月十二日

朝鮮總督府警務總長 吉海 殿



### 外務次官殿

新聞紙押收ノ件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ押收處方致候  
条此段及通報候也

### 一 新韓民報

第四一六號

十月二日

現今ノ韓人ト指導者トト題シ今ヤ吾人ニ國人ヲ指導ス  
ヘキ緊急事業ハ革命思想ノ鼓吹ニ在リ傳テ吾人ハ彼ノ  
伊太利ノカッセルガリハルシマツケエーヲ崇拜シ指導  
者トシテ前進第ルベカラスト説ケリ

### 一 全

第四一七號

十月八日

廟堂禮拜堂日人教會ニ合併スト題シ京城韓人ヨリ  
次ニ該禮拜堂ハ今日日人教會ニ合併セシメ後 耶蘇  
福音ノ真理ヲ研究セムトスルモノニアラザルハント説キ尚  
不穩ニ筆鋒ヲ弄シテ「安重根傳」ノ著作廣者ヲモ  
揭載ス

以上北米ニ彙誌出刊(譯文)

第12664號

大正五年五月十一日接受

警務部

第一課

高圖秘發第四二四號

大正五年十二月六日

朝鮮總督府警務總長 古海 嚴 刺



### 外務次官殿

雜誌 押收ノ件通報

左記雜誌ハ治安ヲ妨害スルモノト認  
メ發賣頒布ヲ禁止シ押收處分致候條  
此段及通報候也

一太平洋雜誌

第三卷二号(十一月号)  
지평양 잡지  
意味ホルノ發行(譯文)

獨立種類ノ題下ニ吾人韓人ハ國權ヲ恢復スヘキ政治ト  
獨立ヲ企圖スルト今時ニ宗族并經濟上ノ獨立ヲ計リ以テ  
吾人ノ獨立ヲシテ其實ニ意義アラシムガルベカラスト欲ケリ

報告通報先  
朝鮮總督 政務總長  
内務次官 外務次官  
警保局長 内閣書記官長  
閣東部督府  
總務局長  
警視總監  
宮兵司令官

大正五年五月廿五日接受

警務部

第一課

高田秘發第四三三號

大正五年十二月二十二日

朝鮮總督府警務總長古海殿



131678

### 外務次官殿

新聞紙押收件通報

左記新聞紙ハ治安ヲ妨害スルモノト  
認メ發賣頒布ヲ禁止シ押收処分致候  
奈此段及通報候也

#### 一新韓民報

第四一八号 十一月十六日

「布哇及米州韓人ハ白人ノ米博油ヲ口ニスルハ勿ト題シ  
日本ハ吾人ニ千万民救フニ永遠ニ忘ルベカラサル懸望ナリ  
依テ若クモ祖國恢復ヲ念トスル吾人同然ハ彼等ノ米博油  
等ヲ斷レテ口ニスルハ勿ト説ケリ

#### 一全

第四一九号 十一月廿三日

「館長トシテ吾人國ヲ救フニ七年而カモ同胞ハ不供戴  
天ノ難言故ヲ忘レントレバアリ吾人ハ一齊ニ醒メサルハカラ  
スト説ケリ

北米東港ニ於テ發行(傍文)

#### 一國民報

第二六三号 十一月十一日

「三十五人ノ李生ト日人新聞ヲ論議ト題シ上海ニ在リ  
此ニテ東港ニ向テ我韓人三十五人ノ李生ニ對シ日人新聞



ハ独立運動、為ニ渡来スルモノナリト批難痛罵シテ、アルモ彼等  
亦其日人ノ疑ヲカキ、往來運動、為ニ渡航セルモノナリトセ  
何等來ソシテカナルトシテ説テリ

一全 分二六四号 十一月十五日

「十年前ノ布哇韓人ト十年後ノ存哇韓人ト題シ十年前ノ韓人  
韓人ハ高ニ業其、他、於テ發展シテ、アルモ今後十年間ニハ  
天候ス吾人ニ大好機會ヲ與テ、依リ其ノ機會ヲ利用  
シテ大目的ヲ達セントセハ、今日以後大ニ財蓄スルカナルハ  
カラスト説テリ」

一全 分二六五号 十一月十八日

「朝鮮内ニ補助債皆悉ト題シ日人ハ併合以來朝鮮ノ財政ヲ  
手結シテツアリシカ、昨今其補助債ヲ日本ニ搬出シ以テ  
韓人ヲシテ飢餓ニ墮セシメツアリト説テリ」

一全 分二六六号 十一月廿二日

「コレラニ籍ロシテ韓人ヲ虐殺シト題シ韓人ニシテ新病、消  
化不良等ニ罹ルモノアルハ、直ニコレラト断シ之ヲ殺シ、燒  
殺シ又交通遮断区域ノ人民ヲ餓死セシメ、ツアリ、其  
ノ數實ニ五百人以上ニ達セリト説テリ」

一國民報 分二六七号 十一月廿五日

「殉國ノ士ヲ慰ムト題シ、義兵ニ殺多ノ事件ニ依リ日人ニ捕ヘ  
ラレテ祖國ノ為ニ殉セル志士ハ其ノ數少ナカラス吾人カ此  
等ノ志士ヲ慰ムルニハ、一ニ其ノ事業ヲ繼承スルニアリト説  
ケリ」

布哇ホノルニシテ及行(誘文)

報告通報先

朝鮮總督

政務總監

總務局長

内務次官

外務次官

警視總監

警保局長

内閣書記官長

憲兵司令官

關東都督府